

田村ひろゆき通信

発行元: 田村ひろゆきとわかりやすい政治をつくる会
代表: 田村ひろゆき 〒188-0013 西東京市向台町6-5-4
ホームページもご覧ください! <http://tamura-h.net/>

号外

H26.11月

無所属
36歳



プロフィール 西東京市向台町生まれ、中央大学法学部卒
元衆議院議員秘書、元武蔵野大学職員
趣味は旅と鉄道

田村ひろゆきは

これをやる!

● 議会改革と政治活動の「見える化」

一向になくならない政治とカネの問題。ほとんどの人はイメージすらない地方議会。こうした中、市議会議員には市民の税金から年間900万円を超える額が支払われています。私はこの現状を打破するため、政務活動費・議員報酬の使途の公開、委員会のネット中継や議会報告会の実施、議場へのモニター導入や一問一答制など、議会活動・政治活動を市民にとってより「わかりやすい」ものにしていき、市民がしっかりとチェックできる体制にしていきます。

● 若者の政治参加・社会参加

西東京市でも少子高齢化が進んでいます。私は、この街の未来を考えた時若い世代が地域課題や政治に関心を持たなければ、西東京市から活力が失われてしまうと思います。

私は学生時代にNPOを立ち上げ、学生に地方議会議員の仕事を経験させるインターンシップ事業に取り組みました。また、今年の春までは武蔵野大学に勤務し、学生がボランティア活動や就業体験などを行うキャリア教育の実践に関わりました。こうした経験から感じたのは、若い世代もきっかけさえあれば、政治や社会の問題に関心を持つということです。西東京市においても、小中学校でのキャリア教育や職場体験の充実、中学校での模擬選挙実施、高校・大学と連携したボランティア活動の実施などを通して、地域活動の若い担い手を育てます。



田村ひろゆきの活動報告



10/11 ピースウォークに参加

第五福竜丸展示館と、東京大空襲・戦災資料センターを見学。担当課である協働コミュニティ課の方は「地味な事業」とおっしゃっていましたが、より多くの市民、特に若い世代の市民に多く参加してもらいたい事業です。



9/27 学童めぐりに参加

「ひばりヶ丘第一・第二」や「谷戸」など市内8か所の学童保育所を見学。どこも定員を上回る受入数で手狭に感じました。また、同じ敷地内にある小学校との連携も十分でないと感じました。



10/13 藤井香織&田村ひろゆきトークショー

田無一中の同級生という縁で実現しました。ニューヨークを拠点に活動し、発展途上国で音楽教師を育成するプログラムを提供する団体を立ち上げた藤井さんの話、そして若者の政治参加を進める活動を続けてきた田村の話をお聞きいただきました。



10/10 ローカル・マニフェスト推進地方議員連盟勉強会に参加

「タブレット議会~ICTで変わる議会改革~」と題した勉強会で、実際に端末を操作しながら先進事例を学びました。また、各地の自治体で活躍する同世代の議員とも交流することができました。



10/19 武蔵野大学・摩耶祭に参加

私が3月まで勤務していたキャリア開発課では、毎年学生がキャリアデザインの授業でお世話になっている農家さんから届いた野菜や果物を販売するブースを出しており、そのお手伝いをしてきました。



みなさまの声に答えます!

前回の通信でもみなさまからの声を募集しましたが、10月末までに100件を超える声が寄せられました(まだまだ募集中です)。今回はその中からいくつかの声にお答えします。

無所属では何もできないのでは?

そんなことはありません。無所属であっても本会議や委員会での質疑を通して市政の問題点をたずねることができますし、考え方の近い議員同士で会派と言われるグループを組む、あるいは会派は組まなくても他の議員と共同で議案を提案することもできます。また、西東京市議会は定数が28と国会や都議会と比べて少ないため、一人の無所属議員の行動で可決・否決が変わることもあり(実際9月議会でそのような場面がありました)、市民の立場に立って行動する無所属議員の役割は大きいと考えています。

はなバスのバス停が遠い。買い物や病院に行くのが不便です

市内には交通不便地域がまだまだあります。さらなる利便性向上のため、ルート・ダイヤ・バス停の位置等は、他市との連携も視野に入れて見直していくべきと考えます。また、他市で導入されているコミュニティタクシーなど、さまざまな可能性を検討します。



保育所・学童保育の充実をお願いしたい!

私自身も母子家庭に育ち、小学校時代は学童保育所のお世話になりました。働くパパ・ママにとって子育てと仕事の両立は大変重要です。保育所については引き続き待機児童ゼロを目指して、また学童保育所については利用時間の延長や施設の充実などを求めて活動します。

自転車のマナーが悪い。道も狭いし危険です!

ご存じの通り、市内の道路には狭く危険な箇所が多くあります。すぐに道幅を広げたり広い道路を通すのは簡単ではありませんが、ミラーの設置、カラー舗装、歩道の整備など、現状の道路網の中で可能な対策を市民の声で進めます。加えて、小学校での自転車教室を今後も実施するなど、利用者のマナー向上も進めていきます。

田無駅南口のまちづくり計画をしっかりと出してほしい

田無駅南口の広場計画が市から公表されましたが、単に広場を整備するための「街路事業」で田無駅南口地区をどんなまちにしていこうかという視点がありませんでした。田無庁舎が今後どうなるのかもあわせて、市民の皆さんの声を聞きながらまちづくりを進めていくべきだと思います。



正直、市政についてよくわかりません

早稲田大学マニフェスト研究所の調査によれば、地方議員のイメージとして56%の人が「何をしているかわからない」と回答しています。国会と違い、マスコミで伝えられることもほとんどない地方議会だからこそ、議員自身が積極的に説明責任を果たさなければなりません。私は、議員のいわば「雇い主」である市民の皆さんに対して、活動レポート、ホームページ、対話集会などさまざまな形で市政についてお伝えすることをお約束します。

図書館が設備も古いし使いにくい。開館時間が短いのも不便です

田無の中央図書館は、市役所の新庁舎建設のタイミングで公民館・市民会館とあわせて建て替えの予定です。武蔵境には午後10時まで開館の「武蔵野プレイス」ができ、街全体の魅力向上につながりました。こうした事例を参考にしながら、単なる本の貸し借りの場ではなく、交流の場・学習の場として市民が集える施設になるよう、市民のみみなさまのご要望を伺っていきます。

